

「本リリース御案内は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに行っております。」

報道各位へのお知らせ

平成23年11月7日



独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全センター

除雪機の事故の防止について（注意喚起）

NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井至、本部：東京都渋谷区）製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、除雪機の事故は、平成18年度から平成22年度の5年間に31件ありました。（※1）被害の状況は、死亡事故が12件（死亡者12人）、重傷事故が9件（重傷者9人）でした。

NITEの収集した除雪機による事故31件のうち、誤使用や不注意が原因の事故が、21件で68%を占めています。現象別にみると、「使用者が安全装置を無効化し、巻き込まれたもの」が最も多い9件で、「運転操作を誤り除雪機と壁等との間に挟まれたもの」が4件発生しています。

また、除雪機を操作中に、近くで遊んでいた子どもが巻き込まれる事故も2件起きています。

除雪機による事故は、雪の多い北海道、東北、信越で多く発生しています。使用者が安全装置（※2）を無効化するなど、誤った取り扱いや、雪道での転倒が事故につながっています。また、重篤な被害につながっています。

消費者に事故の内容を理解していただき、誤った使用をなくし、事故を防止するために注意喚起をすることが必要と考え、記者説明会を開催しますので、ご案内します。

（※1）平成23年9月30日現在、重複、対象外情報を除いた件数

（※2）安全装置

- ①デッドマンクラッチ：使用者が操作ハンドルから手を離れた状態では、エンジンは停止しないが、作業用クラッチ及び走行クラッチはOFF状態にあるため回転部及び走行が停止する機構。
- ②非常停止スイッチ：使用者と除雪機の間をコード等で結び、コードの長さ以上に離れるとコードが外れてエンジンが停止し、さらに回転部及び走行が停止する機構。

1. 記者説明会について

日時：平成23年11月10日（木曜） 10：00～（開場9：00）

場所：ナイトスクエア（東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階）

※参加ご希望の方は、平成23年11月9日（水曜）18：00までに「記者説明会参加連絡先」へ必ずご連絡下さい。
会場の準備のため必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

2. 説明する内容

N I T Eに通知された「除雪機」の事故の状況とその傾向、事故事例及び未然防止のポイント等を説明いたします。また、再現実験映像をご覧いただきます。

3. 当日入館時のご注意

N I T E 本所（東京都渋谷区）では、入館管理システムを運用しております。

入館時 ： 受付で外来者用入館許可証をお渡しますので、ゲートにかざして入館してください。

（館内では許可証を首から吊るしてください。）

退出時 ： 許可証を受付に返却してください。

お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

（本件に関するお問い合わせ先）

○記者説明会参加連絡先

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷（くずや）、亀井（かめい）、三好（みよし）

電 話 06-6942-1113

製品安全センター製品安全調査課（11月9日、午後）

担当者 葛谷、亀井、三好

電 話 03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会当日

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷、亀井、三好

電 話 03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷、亀井、三好

電 話 06-6942-1113